

平成 26 年度第 2 回土木計画学研究委員会 議事録

日時：平成 24 年 11 月 2 日（日）12:10～13:00

場所：鳥取大学（鳥取地区-鳥取キャンパス）

議事録担当幹事：藤見，大西

出席者（かっこ内は所属.「大学」は省略）

桑原（委員長，東北），久保田（副委員長，埼玉），秋山（副委員長，関西），屋井（東京工業），神田（京都）[石田（筑波）代理]，喜多（神戸），原田（東京），山中（徳島），山田（茨城），小林（京都），奥村（東北），宇野（京都），谷口（京都），大森（宇都宮），藤田（名古屋），多々納（幹事長，京都），森（科学警察研究所），岡本（阪神高速），小路（広島高速），吉武（九工），大枝（九州），谷本（鳥取），高野（北海道），浜岡（秋田）

（以下幹事兼任委員）有村（室蘭工業），井料（神戸），倉内（愛媛），福田（東京工業），福本（東北），藤見（熊本），井田（北海道科学大），大沢（日本），大西（京都），長田（宇都宮），出村（岐阜）

配付資料

資料 1 平成 26 年度第 1 回土木計画学研究委員会 議事録（案）

資料 2 平成 26 年度土木計画学研究委員会名簿

資料 3-1 減災アセスメント小委員会 申請書(案)

資料 3-2 自転車政策研究小委員会の期間延長について

資料 4 26 年度土木計画学研究委員会 予算執行計画

資料 5 学術小委員会報告

資料 6-1 第 51 回土木計画学研究発表会（春大会）の概要

資料 6-2 第 1 回土木計画学研究委員会春大会運営小委員会（夏合宿）

資料 6-3 開催校準備状況（2014/10/11）

資料 7 なし

資料 8 小委員会活動状況報告資料

資料 9-①-1 JSCE2015 の土木学会の 3 つの使命と具備すべき 9 つの機能に対する活動計画記入表

資料 9-①-2 JSCE2015 重点課題（案）に対する活動計画記入表

資料 9-④ ホームページ（修正と CMS 化）

資料 9-⑤ 土木計画学研究委員会国際セミナーについて（報告）

資料 9-⑥ 国際センター・出版委員会 状況報告

資料 9-⑧ ワンダーセミナー起案書

資料 9-⑧ 成 26 年度全国大会研究討論会開催結果報告書

1. 委員長挨拶（桑原）

桑原委員長より挨拶があった。

2. 前回議事録の確認（多々納）[資料 1]

前回委員会の議事録について確認がなされ、原案通り了承された。

【審議事項】

3. 委員の交代について（多々納）[資料 2]

平成 26 年度より新規に委員兼幹事に就任する出村嘉史氏，鳩山紀一郎氏，大沢昌玄氏，長田哲平氏，大西正光氏の紹介があった。また，萩田賢司氏（科学警察研究所交通科学部主任研究官），山田晴利氏（交通事故分析センター常務理事），板倉信一郎氏（大阪大学大学院 特任教授）に平成 27 年度春より委員就任を要請することが承認された。

4. 研究小委員会の設置について（多々納）[資料 3-1, 3-2]

土木学会土木計画学研究委員会・海岸工学委員会合同による減災アセスメント小委員会（資料 3-1）を新しく設置し，2014 年 10 月より 3 年間活動を行うことが多々納幹事長より提案され，承認された。また，自転車政策研究小委員会（資料 3-2）について活動期間の 1 年間の延長が山中小委員会委員長より提案され，承認された。

5. 予算の執行計画について（多々納）[資料 4]

①今年度の予算について

今年度は例年より調査研究拡充支援金（行事還元金）が多いことを踏まえ，ワンデーセミナー開催一回につき 10 万円の補助（計 40 万円），50 周年行事における外国人招聘等の費用補助（50 万円），HP の改善費用（100 万円）を加えた予算案（資料 4）が多々納幹事長提案され，原案どおり承認された。

②学術小委員会（特集号・秋大会）予算について

掲載論文数の多寡により，学術小委員会の収入が大きく変動するリスクがあるため，学術小委員会（特集号・秋大会）予算について 2015 年度は 80 万円を充当することとし，以降については春大会の収支状況を勘案し充当額を決定することが承認された。

6. 土木計画学研究委員会 50 周年記念事業について（多々納）

①50 周年記念セミナーシリーズとして，積極的にセミナーを開催してほしいとの依頼が多々納幹事長よりあった。

②土木計画学ハンドブックの出版について，小林小委員会委員長より進捗状況の報告があった。

③土木計画学研究発表会でのスペシャルセッションの開催日時・内容について下記のような意見が出された。

- ・計画学会秋大会に実施するのは時間的に厳しいので、別の機会を用意すべき。
- ・計画学会秋大会に実施するのであれば、半年前までには大枠を決めるべき。
- ・一般向けに開催したほうがよい。
- ・30周年、40周年を踏まえて、学会としての今後の方向性を議論するのがよい。
- ・どういう内容にするかで開催形式、日時が決まってくる。

④土木計画学研究発表会でのスペシャルセッションの開催日時・内容について幹事会で議論して案を作成することが承認された。

## 【報告事項】

### 7. 学術委員会からの報告（屋井）[資料 5]

屋井学術委員長より資料 5 のとおり学術委員会での活動状況が報告された。

### 8. 2014 年度秋大会の実施状況について（高野，谷本）

秋大会開催校代表の谷本氏より，2014 年度秋大会の実施状況について報告がなされた。

### 9. 2015 年度春大会の準備状況について（吉武）[資料 6-1, 6-2, 6-3]

春大会運営小委員長の吉武氏より，2015 年度春大会の準備状況について報告があった。オーガナイザーが審査する時間を十分に確保するため，発表希望者の論文題目・概要の登録時期が 2 月 6 日と例年より 1 週間ほど早まっているが，それ以外はほぼ例年どおりのスケジュールで行うことが報告された。

### 10. 2015 年度秋大会の準備状況について（浜岡）

秋大会開催校代表の浜岡氏より，秋田大学において 11 月 21 日～23 日での開催を予定していること，会場を予約したことなど，2015 年度秋大会の準備状況について報告があった。

### 11. 研究小委員会の活動報告（井田）[資料 8]

研究小委員会対応幹事の井田氏より資料 8 に基づいて研究小委員会の活動が報告された。

### 12. 幹事会からの報告 [資料 9]

- 1) 活動評価・中期目標対応担当幹事より「JSCE2015 の土木学会の 3 つの使命と具備すべき 9 つの機能に対する活動計画記入表（資料 9-①-2）」、「JSCE2015 重点課題（案）に対する活動計画記入表（資料 9-①-2）」を提出したとの報告があった。
- 2) HP 担当幹事からホームページの CMS 化の進捗状況が報告された。また，一般向けホー

ムページの内容充実のため、「関連プロジェクト一覧」について委員長・副委員長からリレー形式で執筆を依頼する（幹事会で承認）との報告があった。[資料 9-④]

4) 国際セミナー担当幹事より、今年度の開催実績について報告があった。[資料 9-⑤]

5) 国際センター・出版委員会担当幹事より活動状況の報告があった。[資料 9-⑥]

6) ワンデーセミナー担当幹事より、「交通関連ビッグデータは土木計画の研究と実務に何をもたらすか？（仮題）」を 2015 年 3 月 9 日(月)に開催するとの報告があった。[資料 9-⑦]

7) 全国大会研究討論会担当幹事より、2014 年 9 月 10 日に開催された全国大会研究討論会「GLOCAL な視点で見直そう、土木分野における NPO 活動！」の開催報告があった。[資料 9-⑧]

### 13. その他

都市間交通旅客交通研究小委員会の奥村小委員長より、2015 年 3 月末にワンデーセミナーを企画予定であり、近日中に日程を確定の上、承認申請を行うとの報告があった。